

名前：

現在 インターネットやパソコンが普及して
ある際に、あらゆる事情も全てインターネ
ットを通して完成することになった。そして、
その発達ぶりにしたが、本来人々に伝わ
る媒介としていた新聞や雑誌も、取り替えら
れる危機が迫ってきた。しかし、私にしてみ
て、これからも新聞や雑誌は必要だという意
見を持つ。理由は次の三つの点があ
る。

まず、科学的に、毎朝新聞や雑誌を読むと
体の注力を上昇させる力がある。その理由と
しては、頭がまだぼんやりとしていた状態の
最中に、文字は脳の思考力を注躍させるのに
役立つ。文を読ま^んたのに、最低限度
の理解力や精神が必要なので、脳もそのうち
に次第に寛め^てくるであろう。一方、パソ
コンのスクリーンに現れてくるインターネット
ニュースもあるが、朝起きた直後には、目の
疲労や不適感^がスクリーンに集中力をつけるこ
とによ^りて生ずるのである。

また、インターネットで新聞や雑誌を見る
ことは、ページをダウンロードとしても、な
かなか読む実感が無い。毎朝新聞配達の人か
らホットした新聞を手に入れ、自分の体より
大きい新聞紙を開き、紙の上から下までじ
くり見るというのは、大部の人にと、毎朝
の定番で、逆にインターネットでかわるとし
たら、ただスクリーンを下に回すだけであ
らなくなる。それもなぜ新聞が欠かせない理
由の一つであろう。

その上、インターネットは確かにインフォ
メーション交流の上に、極めて有効であるが
、自分が目にしたくない情報も資料を見い
出^すために見なければならぬことにな^る。ま
う、その面から見れば、雑誌や新聞の方が
統一で簡潔したものであり、もと中身のあ
る情報源とも言えるであろう。

以上の三つの理由を考えた上で、私はイン
ターネットが自由に使えるようになったとし
ても、雑誌や新聞は不可欠だと思^うている。

1800字